

平成24年度財団法人紀南環境整備公社
第1回理事会・第1回評議員会合同会議
(平成24年6月23日(土)開催)

議事録

財団法人紀南環境整備公社

**平成24年度財団法人紀南環境整備公社
第1回理事会・第1回評議員会合同会議議事録**

- 1 開催の日時
平成24年6月23日（土） 午前10時30分
- 2 開催の場所
田辺市新庄町3353-9
和歌山県立情報交流センター Big・U 多目的ホール
- 3 出席者
別紙出席者名簿のとおり
- 4 議案
第6号議案 平成23年度財団法人紀南環境整備公社事業報告について
第7号議案 平成23年度財団法人紀南環境整備公社会計収支決算について
- 5 開会
事務局が、会議の開会を宣言した。

（開会挨拶）

真砂理事長が「役員並びに評議員の皆様方におかれましては、何かとお忙しい中、ご参集いただき、誠にありがとうございます。また日頃は、当公社事業につきまして、多大なるご協力をいただいておりますことも併せてお礼を申し上げます。

本日の理事会・評議員会合同会議は、平成23年度の事業報告及び収支決算についてご審議いただくため、開催したものでございます。よろしくお願い申し上げます。

さて、公社事業の進捗状況でございますが、ご承知のとおり、昨年5月に最終処分場の候補地として田辺市稲成地区を最終選定いたしました。

そうした背景のもと、公社では地元地区の住民の皆様への説明会以降、施設の必要性はもとより、安全性等についてご理解を深めていただくため、特に整備予定地の区域を中心に戸別訪問を行い住民理解の拡大に努めてまいりました。

そうした結果、一定のご理解は得られつつあるものと感じておりますが、まだ不安や心配があるとのことのご意見の方もいらっしゃるため、現時点では最終処分場整備のための次のステップである地元との「現地詳細調査」の合意には至っていないというのが現状でございます。

このため、公社としましては、できるだけ早い時期に地元との合意形成が図れますよう、引き続き、事業への住民理解の拡大のため、誠心誠意、住民の皆様への不安やご心配を払拭するための説明や話し合いを重ねているところでございます。

このように、現在まだ厳しい局面が続いておりますが、最終処分場整備のためには、住民の皆様へに公社事業への一定のご理解を賜うことが大切であると考えますことから、今後とも「安全・安心な施設整備」を目指し、構成団体における役員並びに評議員の皆様には、より一層のご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。」と開会挨拶を行った。

(新任評議員紹介)

事務局が、出席者についての説明を行い、その中で新任の井澗評議員、瀧上評議員、伊藤評議員、久保木評議員の紹介を行い、井澗評議員が「白浜町長の井澗でございます。どうぞよろしくお願いいたします。評議員としてしっかりと、皆様のご協力をいただきながら一生懸命やっていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。」と、瀧上評議員が「本宮町商工会会長の瀧上です。私は商工会の青年部を卒業してまだ5年しか経っておりません。全く何も知らないののでいろいろと教えて頂きたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。」と、伊藤評議員が「龍神村商工会の伊藤でございます。まだまだ勉強から始める段階でありまして、皆様にご迷惑を掛けることの無いよう一生懸命務めさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。」と、久保木評議員が「白浜町商工会の久保木でございます。前岡本会長のようにうまくできないかも知れませんが、精一杯努めますので、ご協力をおねがいします。」とそれぞれの評議員が就任挨拶を行った。

(新人事務局職員紹介)

事務局が、新任の小郷次長、杉若企画員の紹介を行った。

(議長就任)

議長就任について、寄附行為第27条に従って、理事長が議長に就任した。

(代理出席者の承認)

議長が、代理出席者の承認について諮ったところ、異議なく承認された。

(会議の成立)

議長が、出席者数の確認をしたところ、出席者は寄附行為28条に基づく定足数を満たしていたので、会議の成立を宣言した。

(議事録署名人選任)

議長が、議事録署名人の選任について提案し、議長から指名することについて諮ったところ、全員異議なく、理事会からは田嶋理事、森田理事が、評議員会からは井澗評議員、瀧上評議員が選任された。

6 議事

(第6号議案及び第7号議案の審議)

議長が、第6号議案及び第7号議案は、関連議案なので、一括して審議する旨を述べ、議長の指示により、事務局が、両議案の詳細を一括して説明した。

次に、議長が、小出監事に対し監査報告を求めたところ「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条及び財団法人紀南環境整備公社寄附行為第20条第5項に基づき、平成23年度財団法人紀南環境整備公社の財産並びに業務執行の状況について監査を行ったところ、監査報告書のとおり適正に処理していることをご報告申し上げます。」との報告があった。

その後、議長が理事・評議員に対し質問・意見を求めた。

植田評議員

「ただいま監査の報告をいただいたのですが、事業報告（４）の監査の実施日と、監査報告書の日付けが違っており、整合性がとれないと思いますが、いかがでしょうか。」

小出監事

「平成２２年度事業の監査を平成２３年５月２４日と２６日に実施しております。平成２３年度につきましては、平成２４年５月９日に実施しているということでございます。」

議長が、他に質問等を求めたが、特になく、第６号議案及び第７号議案について、議長が諮ったところ、全会一致で可決、承認された。

７ その他（質疑応答）

議長が、その他公社事業全般に関して質問・意見を求めた。

花本評議員

「公社が解散し、最終的に財産が残った場合、残余財産の処分はどうなりますか。」

事務局

「公社を今後、どのようにしていくかという事につきましても、最終的な判断は、理事会及び評議員会のみなさんに協議をしていただく必要があると考えております。」

田嶋理事

「理事長の冒頭挨拶の中に現地詳細調査にはまだ至っていないという状況であるという報告をされました。状況は理解しておりますが、もう少し具体的な説明をいただきたいと思います。」

事務局

「最終候補地を稲成地区に決定した後、稲成町内会にその旨をお伝えしました。稲成町内会役員の皆様の意向として、１人でも多くの町民の皆様に事業についてご認識をいただき、ご理解をいただきたいという事から、稲成町内の６区の中で説明会等を希望される４区に出向き、経過等の説明を行っております。その中で２区で反対を決議されたため、その後、理事長が町内会へお願いに行きまして、１つの区では再度説明会をさせていただき、もう１つの区では、個別に訪宅等によりご理解をいただきに現在も伺っている状況でございます。」

８ 閉会

議長が、他に質問等を求めたが特になく、以上を持って本日の議事をすべて終了した旨を述べ、事務局が閉会を宣言した。

午前１１時００分

以上この議事録が正確であることを証するため、議長及び議事録署名人は、次のとおり署名押印する。

平成24年6月23日

議長

真砂 充敏



署名人

田嶋 勝正



署名人

森田 敏行



署名人

井 淵 誠



署名人

瀬上 太志



平成24年度第1回理事会・第1回評議員会合同会議出席者名簿

●役員

- 理事現在数9名
- 出席理事数8名（うち代理出席者2名）
- 表決を委任した理事数1名

役 名	氏 名	役職名	代理出席者等
理 事 長	真砂 充敏	田辺市長	
副理事長	田岡 実千年	新宮市長	
副理事長	橘 一郎	田辺商工会議所会頭	専務理事 田中 庸雄
理 事	小谷 芳正	みなべ町長	
理 事	田嶋 勝正	串本町長	
理 事	寺本 眞一	那智勝浦町長	住民課長 寺本 資久
理 事	森川 起安	南紀くろしお商工会会長	欠席（表決を森田理事に委任）
理 事	森田 敏行	日置川町商工会会長	
理 事	米田 和一	和歌山県環境生活部長	
監 事	小出 隆道	上富田町長	
監 事	瀬古 伸廣	新宮商工会議所会頭	専務理事代行 奥村 建二

●評議員

- 評議員現在数17名
- 出席評議員数15名（うち代理出席者2名）
- 表決を委任した評議員数2名

氏 名	役職名	代理出席者等
朝本 紀夫	すさみ町商工会会長	欠席（表決を須賀評議員に委任）
井澗 誠	白浜町長	
伊藤 研治	龍神村商工会会長	
岩田 勉	すさみ町長	
植田 英明	みなべ町商工会会長	
大和田 隆栄	北山村商工会会長	
奥田 貢	北山村長	住民福祉課長 柳原 幸則
久保木 弘	白浜町商工会長	
小原 周作	古座川町商工会会長	欠席（表決を須賀評議員に委任）
三軒 一高	太地町長	住民福祉課長 三好 通弘
須賀 節夫	串本町商工会会長	
平 崇	牟婁商工会会長	
武田 丈夫	古座川町長	
出水 豊数	中辺路町商工会会長	
長井 保夫	上富田町商工会会長	
花本 健	大塔村商工会会長	
湊上 太志	本宮町商工会会長	

平成 2 4 年度
第 1 回理事会・第 1 回評議員会
合同会議

議案書

平成 2 4 年 6 月 2 3 日（土）
財団法人紀南環境整備公社

目 次

第 6 号議案 平成 23 年度財団法人紀南環境整備公社事業報告について	1
第 7 号議案 平成 23 年度財団法人紀南環境整備公社社会計収支決算について	4

第6号議案

平成23年度財団法人紀南環境整備公社事業報告について

平成23年度財団法人紀南環境整備公社事業報告については、次のとおりとする。

平成24年6月23日提出

財団法人紀南環境整備公社

理事長 真 砂 充 敏

平成23年度事業報告

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

1 事業概要

平成23年度の公社事業については、5月15日の理事会において「最終処分場候補地選定調査」結果を基に最終候補地を「田辺市稲成町」に選定し、地元自治体と連携しながら、現地詳細調査に対する地元住民の同意を得るための取り組みをおこなっている。

2 実施状況

(1) 広域廃棄物最終処分場整備事業

- ① 候補地周辺住民を対象とした現地詳細調査に対する説明会等の実施状況
候補地周辺住民、地権者等を対象に説明会や訪問による説明を行った。

地 区 名		開 催 日	参加人数等
田辺市稲成町内会役員会説明会		平成 23 年 5 月 15 日（日）	16 人
田辺市秋津川町内会役員会説明会			15 人
串本町高富区役員会説明会			13 人
地権者戸別訪問		平成 23 年 5 月 16 日（月）～ 25 日（水）	—
田辺市稲成町	荒光区説明会	平成 23 年 7 月 9 日（土）	28 人
	下村区説明会	平成 23 年 7 月 16 日（土）	23 人
	糸田区説明会	平成 23 年 7 月 23 日（土）	15 人
	谷区説明会	平成 23 年 7 月 26 日（火）	42 人
田辺市稲成町内会役員会説明会		平成 23 年 8 月 29 日（月）	16 人
田辺市稲成町	荒光区説明会	平成 23 年 9 月 25 日（日）	29 人
	荒光区戸別説明	平成 23 年 10 月 13 日（木） ～ 11 月 15 日（火）	述べ 160 回
	谷区戸別説明	平成 23 年 12 月 10 日（土） ～平成 24 年 3 月 30 日（金）	述べ 109 回

② 各種調査・情報収集事業

各候補地の課題への対応や安心・安全な最終処分場を目指すため、関係機関との協議、及び先進地の視察等を実施した。

月 日	項 目	内 容
平成24年 3月21日（水）	岐阜市大杉一般廃棄物最終処分場（岐阜県岐阜市）	○ 施設建設までの経緯について ○ 施設完成後の状況等について

③ 廃棄物排出処理実態の把握

- ・ 一般廃棄物－市町村への埋立廃棄物状況等の調査実施
- ・ 産業廃棄物－和歌山県が実施した実態調査の情報収集

（２）循環型社会構築に係る普及啓発事業

① 啓発リーフレットの増刷・配布

- ・ 啓発リーフレットを 7, 0 0 0 部増刷し、構成団体を通じて地域内に配付した。
商工会・商工会議所会報へ折り込み配布（会員あて）
環境学習教材として小学４年生への配付（環境学習の一環）
市町村役場等施設への設置

② 情報発信・情報公開

公社事業の情報発信の強化を図るとともに、廃棄物排出処理実態状況や各種会議の内容等の情報発信、公益法人としての情報公開（ディスクロージャー）を実施した。

（３）各種会議の開催状況

① 理事会及び評議員会等

- ・ 理事会を 3 回、評議員会を 2 回開催し、公社事業の進め方等について協議を行った。

	開 催 日	会 議 議 題 等
第1回理事会	平成23年 5月15日（日）	○ 財団法人紀南環境整備公社最終処分場整備に係る候補地について
第2回理事会・第1回評議員会合同会議	平成23年 6月25日（土）	○ 平成22年度事業報告について ○ 平成22年度収支決算について
第3回理事会・第2回評議員会合同会議	平成24年 3月29日（木）	○ 平成24年度事業計画について ○ 平成24年度収支予算について ○ 任期満了に伴う役員の選任について

- ・ 4 件の議題について書面による表決を行った。

議 決 日	会 議 議 題 等
平成23年 4月 24日（日）	○ 財団法人紀南環境整備公社評議員の選出について
平成23年 8月 4日（木）	○ 財団法人紀南環境整備公社理事の選任について
平成23年 12月 1日（木）	○ 平成23年度財団法人紀南環境整備公社会計補正収支予算について
平成23年 12月 1日（木）	○ 財団法人紀南環境整備公社評議員の死去に伴う後任評議員の選出について

② 企画調整会議

	開催日	会議議題等
第1回	平成24年 3月19日（月）	○ 平成24年度事業計画について ○ 平成24年度収支予算について ○ 任期満了に伴う役員の選任について

③ 拡大調整会議

	開催日	会議議題等
第1回	平成23年 6月 9日（木）	○ 平成22年度事業報告について ○ 平成22年度収支決算について ○ 事業計画の変更について
第2回	平成23年10月18日（火）	○ 最終処分場候補地の現状について ○ 廃棄物の埋立処理状況等について ○ 今後のスケジュールについて ○ 平成24年度の予算措置について（市町村担当者のみ）

④ 産業廃棄物関係会議

	開催日	会議議題等
第1回	平成23年 4月 4日（月）	○ 産業廃棄物の処理状況と受入予測について

（４）監査の実施

平成２２年度における業務ならびに会計監査を５月２４日及び２６日に実施した。

第7号議案

平成23年度財団法人紀南環境整備公社収支決算について

平成23年度財団法人紀南環境整備公社会計収支決算については、次のとおりとする。

平成24年6月23日提出

財団法人紀南環境整備公社
理事長 真 砂 充 敏

収 支 計 算 書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 基本財産運用収入				
基本財産利息収入	211,000	273,142	△ 62,142	
② 補助金等収入				
県補助金収入	2,250,000	753,000	1,497,000	
市町村補助金収入	20,636,000	17,418,000	3,218,000	
市町村業務受託収入	0	0	0	
③ 雑収入				
受取利息収入	8,000	0	8,000	
雑収入	1,000	60	940	
事業活動収入計	23,106,000	18,444,202	4,661,798	
2. 事業活動支出				
① 事業費支出				
最終処分場整備事業費支出	3,085,000	203,252	2,881,748	(注)
普及啓発事業費支出	1,682,000	359,594	1,322,406	(注)
給料手当支出	8,479,000	8,014,765	464,235	派遣職員6名分
法定福利費支出	5,741,000	5,526,853	214,147	派遣職員6名分
福利厚生費支出	94,000	55,488	38,512	
会議費支出	0	0	0	
旅費交通費支出	1,000,000	300,332	699,668	
通信運搬費支出	0	0	0	
リース料支出	420,000	419,271	729	
消耗什器備品費支出	0	51,998	△ 51,998	(注)
消耗品費支出	50,000	17,051	32,949	
印刷製本費支出	0	0	0	
車両維持費支出	553,000	398,967	154,033	
委託費支出	0	0	0	
雑支出	20,000	19,110	890	
事業費支出計	21,124,000	15,366,681	5,757,319	
② 管理費支出				
給料手当支出	2,387,000	2,105,706	281,294	派遣職員2名分
法定福利費支出	3,088,000	2,642,718	445,282	派遣職員2名分
福利厚生費支出	25,000	12,800	12,200	
会議費支出	204,000	14,400	189,600	
旅費交通費支出	780,000	201,350	578,650	
通信運搬費支出	153,000	119,461	33,539	
消耗什器備品費支出	100,000	98,963	1,037	
消耗品費支出	87,000	70,279	16,721	
印刷製本費支出	366,000	186,843	179,157	(注)
広告宣伝費支出	0	0	0	
図書研修費支出	111,000	45,000	66,000	

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
諸会費支出	0	0	0	(注)
車両維持費支出	80,000	58,512	21,488	
光熱水料費支出	10,000	8,280	1,720	
賃借料支出	343,000	391,520	△ 48,520	
リース料支出	0	0		
支払手数料支出	72,000	69,680	2,320	
租税公課支出	4,000	1,100	2,900	
支払利息支出	1,000	0	1,000	
雑支出	1,000	0	1,000	
管理費支出計	7,812,000	6,026,612	1,785,388	
事業活動支出計	28,936,000	21,393,293	7,542,707	
事業活動収支差額	△ 5,830,000	△ 2,949,091	△ 2,880,909	
Ⅱ 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
① 特定資産取得支出				
減価償却引当資産取得支出	72,000	68,014	3,986	
② 固定資産取得支出				
什器備品購入支出	1,000	0	1,000	
投資活動支出計	73,000	68,014	4,986	
投資活動収支差額	△ 73,000	△ 68,014	△ 4,986	
Ⅲ 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
短期借入金収入	1,000	0	1,000	
財務活動収入計	1,000	0	1,000	
2. 財務活動支出				
短期借入金返済支出	1,000	0	1,000	
財務活動支出計	1,000	0	1,000	
財務活動収支差額	0	0	0	
Ⅳ 予備費支出	500,000	—	500,000	
当期収支差額	△ 6,403,000	△ 3,017,105	△ 3,385,895	
前期繰越収支差額	7,416,466	7,416,466	0	
次期繰越収支差額	1,013,466	4,399,361	△ 3,385,895	

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、前払金、未払金及び預り金等を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現 金	24,718	3,193
普 通 預 金	13,575,305	4,116,017
定 期 預 金	0	0
未 収 金	34,577,100	2,068,450
前 払 金	27,550	29,856
合 計	48,204,673	6,217,516
未 払 金	40,160,296	1,633,204
預 り 金	627,911	184,951
合 計	40,788,207	1,818,155
次期繰越収支差額	7,416,466	4,399,361

3. 科目間の流用について（注）

科目間の流用については、以下のとおりである。

(単位：円)

科 目	当初予算額	科目間流用額	流用後予算額
最終処分場整備事業費－印刷製本費支出	1,000,000	△ 51,998	948,002
普及啓発事業費－消耗什器備品費支出	0	51,998	51,998
普及啓発事業費－印刷製本費支出	1,300,000	△ 3,000	1,297,000
普及啓発事業費－通信運搬費支出	232,000	3,000	235,000
管理費－印刷製本費支出	366,000	△ 48,520	317,480
管理費－賃借料支出	343,000	48,520	391,520

貸 借 対 照 表

平成 2 4 年 3 月 3 1 日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	3, 193	24, 718	△ 21, 525
普通預金	4, 116, 017	13, 575, 305	△ 9, 459, 288
定期預金	0	0	0
未収金	2, 068, 450	34, 577, 100	△ 32, 508, 650
前払金	29, 856	27, 550	2, 306
流動資産合計	6, 217, 516	48, 204, 673	△ 41, 987, 157
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	53, 770, 000	53, 770, 000	0
基本財産合計	53, 770, 000	53, 770, 000	0
(2) 特定資産			
減価償却引当資産	326, 725	258, 711	68, 014
特定資産合計	326, 725	258, 711	68, 014
(3) その他の固定資産			
什器備品	56, 525	83, 825	△ 27, 300
その他の固定資産合計	56, 525	83, 825	△ 27, 300
固定資産合計	54, 153, 250	54, 112, 536	40, 714
資産合計	60, 370, 766	102, 317, 209	△ 41, 946, 443
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1, 633, 204	40, 160, 296	△ 38, 527, 092
預り金	184, 951	627, 911	△ 442, 960
流動負債合計	1, 818, 155	40, 788, 207	△ 38, 970, 052
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	1, 818, 155	40, 788, 207	△ 38, 970, 052
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
県出捐金	20, 000, 000	20, 000, 000	0
市町村出捐金	22, 770, 000	22, 770, 000	0
商工会議所・商工会出捐金	11, 000, 000	11, 000, 000	0
指定正味財産合計	53, 770, 000	53, 770, 000	0
(うち基本財産への充当額)	(53, 770, 000)	(53, 770, 000)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	(326, 725)	(258, 711)	(68, 014)
正味財産合計	58, 552, 611	61, 529, 002	△ 2, 976, 391
負債及び正味財産合計	60, 370, 766	102, 317, 209	△ 41, 946, 443

正 味 財 産 増 減 計 算 書

平成２３年４月１日から平成２４年３月３１日まで

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	273,142	146,978	126,164
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息	0	0	0
③ 受取補助金等			
受取県補助金	753,000	14,065,000	△ 13,312,000
受取市町村補助金	17,418,000	40,020,000	△ 22,602,000
市町村業務受託収益	0	30,038,100	△ 30,038,100
④ 受取寄付金			
受取寄付金	—	—	—
⑤ 雑収益			
受取利息	0	755	△ 755
雑収益	60	0	60
経常収益計	18,444,202	84,270,833	△ 65,826,631
(2) 経常費用			
① 事業費			
最終処分場整備事業費	203,252	40,459,657	△ 40,256,405
普及啓発事業費	359,594	350,841	8,753
給料手当	8,014,765	17,943,473	△ 9,928,708
法定福利費	5,526,853	5,010,609	516,244
福利厚生費	55,488	16,888	38,600
旅費交通費	300,332	716,976	△ 416,644
通信運搬費	0	0	0
リース料	419,271	316,803	102,468
消耗什器備品費	51,998	0	51,998
消耗品費	17,051	0	17,051
印刷製本費	0	0	0
車両維持費	398,967	391,296	7,671
委託費	0	0	0
雑費	19,110	18,900	210
事業費計	15,366,681	65,225,443	△ 49,858,762
② 管理費			
給料手当	2,105,706	15,039,712	△ 12,934,006
法定福利費	2,642,718	2,484,780	157,938
福利厚生費	12,800	0	12,800
会議費	14,400	27,040	△ 12,640
旅費交通費	201,350	328,020	△ 126,670
通信運搬費	119,461	140,698	△ 21,237
減価償却費	27,300	68,014	△ 40,714
消耗什器備品費	98,963	0	98,963

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
消耗品費	70,279	68,628	1,651
印刷製本費	186,843	225,928	△ 39,085
広告宣伝費	0	0	0
図書研修費	45,000	86,800	△ 41,800
諸会費	0	0	0
車両維持費	58,512	102,744	△ 44,232
光熱水料費	8,280	4,224	4,056
リース料	0	0	0
賃借料	391,520	342,580	48,940
支払手数料	69,680	62,685	6,995
租税公課	1,100	3,900	△ 2,800
支払利息	0	0	0
雑費	0	0	0
管理費計	6,053,912	18,985,753	△ 12,931,841
経常費用計	21,420,593	84,211,196	△ 62,790,603
当期経常増減額	△ 2,976,391	59,637	△ 3,036,028
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,976,391	59,637	△ 3,036,028
一般正味財産期首残高	7,759,002	7,699,365	59,637
一般正味財産期末残高	4,782,611	7,759,002	△ 2,976,391
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
① 受取負担金等			
県出捐金	—	—	—
市町村出捐金	—	—	—
商工会議所・商工会出捐金	—	—	—
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	53,770,000	53,770,000	0
指定正味財産期末残高	53,770,000	53,770,000	0
Ⅲ 正味財産期末残高	58,552,611	61,529,002	△ 2,976,391

財 産 目 録

平成 2 4 年 3 月 3 1 日現在

(単位 : 円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
現金 手許有高	3,193	
普通預金 紀南農業協同組合・本所	631,508	
普通預金 紀陽銀行・田辺支店	3,484,509	
未収金		
受取市町村補助金精算分	2,068,450	
市町村業務受託収益		
前払金		
公務災害格差是正保険料	13,939	
図書購読料	15,000	
労働災害保険料	917	
流動資産合計		6,217,516
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
定期預金		
みなべいなみ農業協同組合・南部出張所	10,000,000	
きのくに信用金庫・田辺支店	10,000,000	
紀南農業協同組合・本所	10,000,000	
紀陽銀行・田辺支店	10,000,000	
第三銀行・田辺支店	10,000,000	
近畿労働金庫・田辺支店	3,770,000	
基本財産合計	53,770,000	
(2) 特定資産		
減価償却引当資産 普通預金		
紀陽銀行・田辺支店	326,725	
特定資産合計	326,725	
(3) その他の固定資産		
什器備品		
ポータブルワイヤレスアンプ	56,525	
その他の固定資産合計	56,525	
固定資産合計		54,153,250
資産合計		60,370,766
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金		
(株)ジェーシービー 高速道路通行料金	18,950	
N T T 西日本 光回線利用料	5,218	
ソフトバンクテレコムパートナーズ(株) 電話料金	13,066	
出張旅費	15,600	
(株)紀陽銀行 インターネットFB手数料	4,830	

(単位：円)

科 目	金 額		
リコー関西㈱ コピーサービス料	32,777		
労働災害保険料精算 H22不足額	263		
和歌山県 受取県補助金精算分	840,000		
田辺市 受取市町村補助金精算分	644,000		
那智勝浦町 受取市町村補助金精算分	58,500		
預り金			
源泉所得税及び住民税	184,951		
流動負債合計		1,818,155	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			1,818,155
正味財産			58,552,611

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

什器備品の減価償却は、定額法によっている。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	53,770,000	0	0	53,770,000
小 計	53,770,000	0	0	53,770,000
特定資産				
減価償却引当資産	258,711	68,014	0	326,725
小 計	258,711	68,014	0	326,725
合 計	54,028,711	68,014	0	54,096,725

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	53,770,000	(53,770,000)	(0)	—
小 計	53,770,000	(53,770,000)	(0)	—
特定資産				
減価償却引当資産	326,725	(0)	(326,725)	—
小 計	326,725	(0)	(326,725)	(0)
合 計	54,096,725	(53,770,000)	(326,725)	(0)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	410,550	354,025	56,525
合 計	410,550	354,025	56,525

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
廃棄物処理施設整備等事業費補助金	和歌山県	0	753,000	753,000	0	—
紀南環境整備公社運営費補助金	田 辺 市	0	1,305,000	1,305,000	0	—
〃	新 宮 市	0	3,695,000	3,695,000	0	—
〃	白 浜 町	0	6,245,000	6,245,000	0	—

						(単位：円)
補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
紀南環境整備公社運営費補助金	上富田町	0	1,868,000	1,868,000	0	—
〃	すさみ町	0	942,000	942,000	0	—
〃	那智勝浦町	0	119,000	119,000	0	—
〃	太地町	0	502,000	502,000	0	—
〃	古座川町	0	125,000	125,000	0	—
〃	串本町	0	2,617,000	2,617,000	0	—
合 計		0	18,171,000	18,171,000	0	

以上、その他の注記事項は、該当しないため省略している。

監 査 報 告 書

平成24年5月9日

財団法人紀南環境整備公社

理事長 真砂 充敏 様

財団法人紀南環境整備公社

監 事

小、出 隆 道



監 事

瀬古 伸 廣



一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条及び財団法人紀南環境整備公社寄附行為第20条の5の規定に基づき、平成23年4月1日から平成24年3月31日までの平成23年度財団法人紀南環境整備公社の財産並びに業務執行の状況について監査したので、次のとおり報告する。

1. 監査の概要

会計監査について、会計帳簿並びに関係書類の閲覧など収支計算書及び財務諸表の正確性を検証した。

業務監査について、理事会及びその他の重要な会議に出席するほか事務局から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など業務執行の妥当性を検証した。

2. 監査の結果

- ・会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録に記載の金額と合致していると認める。
- ・収支計算書及び収支計算書に対する注記、財務諸表及び財務諸表に対する注記は、法令及び寄附行為並びに公益法人会計基準に準拠し、財産状態及び収支状況を適正に示していると認める。
- ・事業報告書は、法令及び寄附行為に従い法人の状況を正しく示していると認める。
- ・理事の職務遂行に関する不正の行為又は法令もしくは寄附行為に違反する重大な事実は認められない。